

# カリキュラム

機構施設名：奈良職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社インソース

A. バックオフィス		モデル番号	推奨対象者
財務管理	企業価値を上げるための財務管理	037	初任層
コースのねらい	財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。		
基本要素	「基本項目」	「主な内容」	
	1 財務の概念と財務諸表	(1) 企業会計とは ① 企業会計とは ② 2つの会計  (2) 知っておきたい簿記の枠組み ① 簿記とは ② 財務諸表と簿記	
	2 コストと資金管理	(1) 財務諸表の基本 ① 損益計算書 ② 損益決算書の特徴(用語の説明)と見方 ③ 貸借対照表 ④ 貸借対照表の特徴と見方 ⑤ キャッシュ・フロー計算書 ⑥ 連結財務諸表	
	3 財務分析と財務計画	(1) 財務諸表を読みこなす ① 数字は、「額」と「率」の両面で比較する ② 数字を時系列で比較する ③ 数字を同業他社と比較する ④ 安全性分析 ～貸借対照表の分析 ⑤ 収益性分析 ～損益計算書の分析 ⑥ 効率性分析 ～貸借対照表と損益計算書双方による分析 ⑦ 財務分析の例 ⑧ 業種・業態別に見る財務の特徴  (2) 総合演習問題	
	演習	<p>【グループワーク】なぜ企業会計の知識が必要なのでしょう。</p> <p>【個人ワーク】「株式会社道の駅チーズ」の損益計算書を以下の順序で作成してください。</p> <p>【個人ワーク】次の表から読み取れることを考えましょう。■売上・コスト・利益の前期比較表 ■時系列比較表</p> <p>【個人ワーク】次の表から読み取れることを考えましょう。■同業他社との比較</p> <p>【グループワーク】飲食店をフランチャイズで展開しているC社とD社の貸借対照表が以下であるとき、安全性はどちらの方が高いと言えるでしょうか。</p> <p>【グループワーク】食品スーパーを経営するE社とF社の財務データが以下であるとき、収益性および効率性に関してどのようなことが言えるでしょうか。</p> <p>なお、両社の前年度末の総資産は、それぞれ今年度の数値と同額であったと仮定してください。</p> <p>【個人ワーク＋共有】以下のI社の前期ならびに当期の財務諸表から、収益性と安全性および効率性に関してどのようなことが言えるでしょうか。</p> <p>【個人ワーク＋共有】株式会社ヤマダ電機(Y社)と株式会社ケーズホールディングス(K社)、それぞれ2事業年度の財務諸表を分析・比較し、気づいたことを書き出してください。</p>	
応用・実践要素(※)	7時間以上の場合、ワークをより充実させ上記内容をより深める研修を行うことや、応用版のカリキュラムを別途作成し実施することなどいずれの対応も可能です。		
合計時間			6.0h

## カリキュラム作成のポイント

財務諸表について、各項目やその数字にどんな意味が込められているのか、そこから何を読み取ることが出来るのかを学んでいただきます。研修のポイントとして、①企業会計についての基本を理解する ②財務諸表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)の基本を理解する ③さまざまな財務諸表を比較して、財務分析を行う の3点を主に学びます。